

## 東近江市総合計画審議会 会議録

第3回 東近江市総合計画審議会		
日時	平成23年5月26日(火) 15:30～	
場所	東近江市役所 3階 3A会議室	
出席者	審議会	稲川会長、今堀副会長、堤委員、小倉委員、井上委員、大林委員、小梶委員、太田委員、野々村委員、武藤委員、川村委員、北川陽委員、山村委員、北川憲委員、森田委員
	市職員	箕野企画部長、村井企画部次長、南川企画部次長、企画課 吉澤、本持、古川
欠席委員	なし	

### 開催

#### 【事務局】

会議を始めていただく前に、4月の異動で事務局の体制、職員も代わりましたので、改めて自己紹介をさせていただきます。(以下、企画部長、次長、課長、主幹、副主幹の自己紹介)

#### 1. 会長あいさつ

##### 【会長】

今日は、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は委員全員出席ということで、すばらしいと思います。今日はふたつのテーマで進めたいと思っております。ひとつめについて、資料にもありますように6月25日のシンポジウムについて。これは、後で(シンポジウム検討会議に出席いただいた審議会委員)委員から説明があると思いますが、この審議会で開催するというので、これまで、委員の有志の皆さんで何回か(3回)議論してきた中身を踏まえ、シンポジウムの(開催)コンセプトをかためたい。もうひとつはこの計画を作っていくために、我々がどう参加していくのかということ、前回審議会でも、立案段階から参加していくべきということもあり、私もそのとおりだと思いますので、具体的にどう参加していくかを話し合っていきたいと思っております。一応、合意を得られれば、本日の目的は達成されたのかなあとと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、総合計画のシンポジウムについて入りたいと思っております。一応、これまでの経過、シンポジウムの案ということで、まとめて頂いたので、(シンポジウム検討会議に出席いただいた審議会委員)委員から説明させていただきます。

##### 【委員】

○これまでの経緯を説明

これまで、3回検討会を開催いたしまして、10名近い委員さんがお集まりいただきまして、事務局を入れますと10人以上でいろいろと検討を重ねましてまいりました。

第1回目はどのようなシンポジウムにするかということで、あまり、行政色は出さずに市民が行うシンポジウムにしようということで合意を頂きました。その中で元気な市民の活動

をどんどん紹介したらどうかということで、会の名前も委員さんのアイデアで百物語というのはどうなんだろうということになり、東近江百物語としてはということになり、いっぱいそんな話ありますよと、その中で第一話としていくつか出していこうと、それを市民の方々に投げかけることによって、もっともっとそんな話が出てくるのではないかと話を話し合われまして、このような形になりました。前向きに活動している団体ということになるとここに出ておられる委員さんの活動団体が非常に近いということで、その辺から手始めにやっといこうと。その上で、委員さんの知り合いで活動をやっている方々をいくつかにお願いしました。

(資料 1-2 の説明)

このような、内容で最終決定して頂ければと思います。以上です。

#### **【会長】**

ありがとうございました。では、私からも補足をさせていただきます。資料 1-1 にありますとおり、検討を行っていただきました。ありがとうございました。そして、一応、こういう形でやっといこうと（開催）ということになりました。

第一幕では、私のほうからは、まず、市の厳しい財政状況を押さえておく必要があること、財政、人口がどうなっていくのかを説明したいと思います。

また、合併して 5 年間の変化（東近江市を取り巻く）についてどういう点が変わったのか、（たとえば）市民と行政の距離感の問題、それから地域医療の問題、環境や雇用の問題などについて、もう一つは行政改革の取り組みについて、やっぱり自分（市民）から見て遠いところから対応していくべき、という結果になっていると感じています。

第二部については、各委員の皆さんなどから発表して頂けたらと思います。第三部では、このシンポジウムは何が言いたかったのか（を明確にすること）が大切です。

できたら、この辺から一回目、二回目、三回目とつなげていきたいので、これらをもとに議論して下さい。しかし、これまで委員の皆さんの間で積み上げてきたものなので、あまり、大きな変化というか内容は変えないでいただければありがたいです。

では、資料 1-2 についてご意見はありますか。

#### **【副会長】**

特に、意見はありません。これまで出席していましたから。

#### **【会長】**

こんな感じでよろしいか。

#### **【委員】**

会場からの質疑応答はありますか。

#### **【会長】**

そのときは、私に対応（フォロー）します。

#### **【委員】**

市の幹部候補生や、市議会議員も聞きに来るべきと思うが、そうして東近江をよくして頂ければよいと思う。

**【副会長】**

本庁だけではなく、支所の職員も来ていただくようにすべきです。

**【事務局】**

市議会議員さんには、ちらしを配布し、職員にも通知します。また、公共施設などにちらしを置くようにします。

**【委員】**

第2幕の出席者の持ち時間5分は、かなりタイトだし、出席者が多くないかと思うが。

**【会長】**

当日、リハーサルを行うが、後で検討してください。リレー方式でやって頂きたい。

**【委員】**

一般の市民の参加できるのか、また、一般の人への告知はどうするのか。

**【会長】**

一般の市民の参加について、事務局から、説明してください。

**【事務局】**

(資料1-3の説明)

大林さんに作ってもらった、ちらしのデータを配布しますし、併せて印刷したものも配布します。6月1日付けの市広報にも掲載します。また、6月7日の滋賀報知新聞にも掲載してもらおう予定です。ケーブルテレビ、(音声放送)も流しますし、市職員には庁内LANで通知する予定です。市会議員にもちらしを配布します。

**【会長】**

ありがとうございます。ちらしは大林委員に作って頂いたことを報告しておきます。出席者からちらしの請求があった場合は送付してください。

**【委員】**

ちらしの中に当日の時間(割)を入れたらどうですか。(第一から第三幕)

**【事務局】**

大林さんからデータを頂いて、時間を入れます。

**【委員】**

募集人員はどれくらいですか。

**【事務局】**

240人くらいを予定しています。

**【森田委員】**

240人は少ないのではないか。

**【会長】**

募集人員については、話し合った結果、顔が見える距離でちょうどこれくらいの規模がいいのではないか。そんなに多くは来てもらえないのではということで、これくらいに決まりました。

**【事務局】**

場所の問題もあって、行政(主催)のシンポジウムでは来てもらえないのではないかと思っていました。市民の主催ということでこの人数になりました。

**【副会長】**

仮に、人が多すぎてうれしい悲鳴になったらパイプ椅子とか、用意できますか。

**【会長】**

一応、備えておきましょう。

**【委員】**

各団体の動員は考えていますか。

**【会長】**

いいえ、考えていません。

**【事務局】**

手話通訳のはなしが、出ていましたので、関係課に問い合わせたら一週間前に通知を頂ければ対応できるということですので、ちらしに一文を付け加えて頂けたらと思います。

**【委員】**

ケーブルテレビの件（中継）はどうですか。

**【事務局】**

その辺は対応します。

**【会長】**

では、次の議案に移ります。事務局からお願いします。

**【事務局】**

（資料 1-4 の説明）

- ・ 役割分担
- ・ 手話通訳
- ・ 第 2 幕のパワーポイントの作成について（データの提供は 6 月 6 日までに事務局まで）

**【会長】**

では、シンポジウムについての議案は終わります。次に後期計画の策定についてに移りたいと思います。事務局から説明してください。

**【事務局】**

（資料 2 の説明）

- ・ 専門部会は審議会委員の参加方法について
- ・ 専門部会の日程が決まれば、各委員に連絡（そののち自由に参加できる）
- ・ 特に、協働の取り組みの部会にはぜひ参加してください。

**【会長】**

ありがとうございます。大きな話として、基本構想・序論については、この場自体が専門部会的になると思うので、7 月に一度、腹を割って話し合う場として、作っていきたいなと思っています。たぶん次回がその会議になるのではないかと。また、実際の施策レベルは専門部会、6 部会ということになりますが、ちょっと縦割りっぽくなっているのが気にはなるのですが、まあ、そのあたりで我々が役割を果たせるのかなと思います。申し訳ないが手弁当になりますが、委員の皆さんも専門部会での検討にぜひ参加して下さい。なお、委員を各専門部会に割り振ることも考えてきたのですけれど、結局、自由参加して頂くということになりました。

専門部会では、地域でがんばっている皆さんと行政のプロとしての職員さんとうまく融合

してひとつのものを作り上げるということを進めていけたらと思います。たぶん市役所のみなさんも有意義な経験になると僕は思いますし、われわれにとっても「あっこんなことを市の職員は悩んではったんや」とかをわかってくると実になることだと思います。計画自体は 8 月頃までに原案ができる予定です。

もうひとつ、協働の取り組みの整理についてですが、前期は「市民はこうしましょう、ああしましょう」と書いてあるんですけど、これは行政の目線によって作ったところがあったけれど、今回は市民の役割というか、我々の目線で議論したいと考えています。できればシンポジウムの結果、こういう取り組みがあるということを活かせないかというのが、私の思いですが。それは、専門部会と切り離して話し合いたいと思っています。

ほかに、ご意見はありますか。

**【委員】**

地域別の人口のデータが棒グラフで示されているようなものがあれば、5 年間のことがよく分かると思うし、考えやすいと思うんですけど。(5 歳か 10 歳刻みのもの)

**【会長】**

それをちょっと、あの事務局、用意できますか。

**【事務局】**

分かりました。

**【委員】**

専門部会への参加について、専門部会の了承はとったのかどうか。もう一つは途中で入ってもそれまでの議論の情報の共有がどういう形でできるかということ、その辺のところをちょっと教えてもらいたい。

**【事務局】**

まず、コンセンサスが得られたのかということですが、また、専門部会には言っておりません。30 日、来週から専門部会の作業についての説明会を行うので、その場で審議委員さんが入ってこられるということをお願いします。心配していますのは、会というのは継続的に何回も開いていくので、出席については継続的に出席していただければよいが、単発的になるとちょっと、どうかと心配があります。できれば、協働の取り組みを検討する際に入っていただければと思います。

**【会長】**

それは、違って言い方に気をつけてほしいんですけど、協働で作りに上げていくということなので、協働の取り組みの部分だけを我々が検討すべきということではないと思います。それと、我々も参加する以上はできたら継続的に入って参加すべきなので、5 回それまでやっていて、5 回目に入って一からひっくり返すようなことはちょっとやっぱりできないし、互いに節度をもって望みたい。たぶん市の皆さんのほうも勇気がいるかもしれませんが、作り上げていく過程だということですのでよいと思います。

**【副会長】**

委員の判断で、一つでも二つでもどこに出席しようがかまわないということなのか。時間的にはどうなるのか教えてほしい。

**【事務局】**

委員さんのご判断にお任せしますが、もちろん一回や二回ではありません。

**【副会長】**

開催の時間帯は勤務時間帯なのか。

**【事務局】**

基本的には勤務時間帯になりますが、それぞれの部会ごとでもしかしたら、他の時間帯でやられることもあるかもしれません。

**【副会長】**

なかなか、継続して参加させてもらうのは難しいかもしれないな。

**【事務局】**

6月の部会については課題とか問題についてですので、その辺についてのご意見を頂く場があるのかなあと考えています。

**【堤委員】**

専門部会に参加する立場について、オブザーバーなのか職員さんと同じ立場なのか、それと縦割りになっているので、これから自分が関わることを考えると6つのすべてに参加しなければならなくなるのではないかな。もう少し各部会で調整したほうが、よいのではないかな。その辺どう考えているのか。

**【事務局】**

審議会の委員の立場で参加して頂ければよいと考えています。縦割りにについては、現行の総合計画のテーマごとに部会を設定しています。基本計画の中の部分について、縦割りにどうしてもなってしまうことを了承してください。

**【会長】**

たとえば、専門部会長会議に参加させて頂くことは可能かどうか、どうですか。

**【事務局】**

それも、いいかと思えます。

**【北川憲委員】**

審議会の委員が参加することで、縦割りになっているところなんかを、ここはこうしたら、こう検討したらいいのではないかなということが出来るのではないかな。

**【事務局】**

6月から専門部会を始めますが、3月からのメンバーと4月からのメンバーが人事異動で変わっていますので、そこで、事務局から再度説明をします。その場所でこういう方針になったということを伝えます。(2部会ずつ) そのときに委員さんに入って頂くということを説明します。また、こういう形で進めていこう、ということ部会ごとで決めて頂きますので各部会はスピードや頻度も違いますが、そこに事務局も入っていますので、開催日時については報告させていただきます。

横の連絡会議ということで、各部会長が集まって会議をするということになります。

**【会長】**

やってみないとわからない気がするのですが、参加することに意義があるんだと思いますし、やっているうちに次の問題点が起きてきたりすることもある。それも、話し合いながら解決していくしかない。計画の中身も大事ですけど、今回は特にプロセスを大事にしたいな、という思いがありますので、そういうことで、よろしく願いいたします。

**【委員】**

いままでこういう取り組みをやっていたのか、今回が初めてなのか。ここには19年度とあるが。(現行計画書)

**【事務局】**

去年の10月から専門部会は設置していました。そこにある(現行計画書)19年度の各委員会は解散になっています。今回、総合計画を作るということで昨年度から設置の向けての組織を作ったということになります。今度この本(現行計画書)が代わります。一応5年ごとに見直すことになっています。

**【会長】**

我々(審議会委員)が参加しやすい形をつくっていただければと思いますので市役所の中でもよろしく願いいたします。

本日の議題はこれで終わりですが、何か言い足りないことはありませんか。ありがとうございました。

**【閉会】**